



ふんと通信

第48号

2006年10月15日発行
 (財)伊賀市文化都市協会

『酒林』 造り酒屋の軒先のうつろい

軒先に吊り下げられた杉玉が、すっかり茶色に色付いてきました。

この杉の葉を束ね球状に刈り上げられた杉玉は、酒林と呼ばれ、古くから造り酒屋のシンボルとして親しまれています。造り酒屋では、毎年、初めてお酒が搾られると、初搾りが無事に迎えられたことへの感謝と、春まで続く酒造りの安全を祈願して、軒先に吊るしてある茶色に色褪せた酒林を、青々とした若々しい酒林に交換します。

昔は、造り酒屋の店先を通りかかった人々は、真新しい酒林をみて、酒蔵で新酒の搾りが始まったことを知り、待ちに待った、あのピチピチと弾けるしぼりたてのお酒を口にするのが出来たというわけです。

交換された新しい酒林は、陽の光を浴び、風に吹かれて、若々しい緑色から枯れた茶色へとゆっくりと色褪せていきます。その時を重ねて趣を増していく様は、お酒が蔵の中でゆっくりと熟成していくイメージと重なり、四季折々に特有の味わいと楽しみを持つ、旬のあるお酒「日本酒」を象徴しているかのようです。

しぼりたて、ひやおろし。
お燗酒、冷酒。

花見酒、月見酒、雪見酒。
伊賀の地は、清らかな水、良質な米、そして、豊かな自然にも恵まれて、今日でも15軒もの酒蔵があります。そして、個性溢れる芳醇な酒が醸され、銘醸地として広くその名が知られています。

秋も深まり、今年も酒造りの季節が到来です。酒蔵から米を蒸す白い煙が立ち上れば、待ちに待ったしぼりたての新酒の蔵出しも間近。酒林の交換です。今年も造り酒屋の軒先に目を配り、季節のうつろいを感じてみてはいかがでしょう。

(広報事業委員 重藤憲史)

ふんと通信

BUNTO チケット情報

音楽座ミュージカル 「リトルプリンス」

サン＝テグジュペリ著「星の王子さま」より



1/18(木) 10/21(土) 完売
 開場 18:00 開演 18:30
 前売 一般 4,500円
 高校生以下 2,000円
 当日 一般 5,000円
 高校生以下 2,500円
 (全席指定)
 伊賀市文化会館

第12回みえ県民文化祭 オペラ「べっかん鬼」



12/9(土) 12/10(日)
 開場 14:30 開場 13:30
 開演 15:00 開演 14:00
 一般 3,000円
 高校生以下 2,000円
 (全席自由)
 伊賀市文化会館

HIROSHI PIANO CONCERT



10/29(日)
 開場 13:30 開演 14:00
 前売 一般 3,000円
 高校生以下 2,000円
 当日 一般 3,500円
 高校生以下 2,500円
 (全席指定)
 あやま文化センター

中国雑技団 チャイナカーニバル 「FANLOWJE」(ファンロージェ)



10/28(土)
 開場 ①13:30 ②18:30
 開演 ①14:00 ②19:00
 前売 一般 2,500円
 中学生以下 500円
 当日 一般 3,000円
 中学生以下 1,000円
 (全席指定)
 青山ホール

須川展也 サクソフォン リサイタル



須川展也 (サクソフォン)



小柳美奈子 (ピアノ)

2/4(日) 11/4(土) 完売
 開場 13:30 開演 14:00
 一般 3,000円
 高校生以下 1,500円
 (全席指定)
 青山ホール

●チケットのお問い合わせ●

伊賀市文化会館 TEL.0595(24)7015
 青山ホール TEL.0595(52)1109

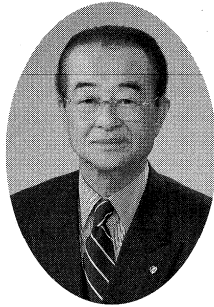
ふるさと会館いが TEL.0595(45)9125
 あやま文化センター TEL.0595(43)1125

伊賀市文化会館開館15周年にあたって (財)伊賀市文化都市協会設立10周年

財団法人伊賀市文化都市協会

理事長 権蛇 英明

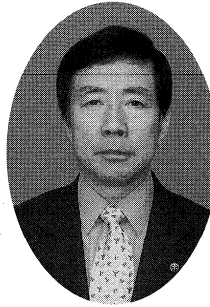
伊賀市長 今岡 睦之



今年度、伊賀市文化会館の開館15周年と、会館を軸に「ふれあい豊かな文化交流のまちづくり」を目指し設立された(財)伊賀市文化都市協会が10周年を迎えることができました。これも偏に市民の皆様の温かいご支援の賜と心より感謝申し上げます。

げます。

現在、市内には「伊賀市文化会館」、「ふるさと会館いが」、「青山ホール」、「あやま文化センター」の4つの施設があります。これらの個性溢れる会館を有機的・効率的に活用し、音楽・演劇の鑑賞や、芸術文化活動の発表の場として、地域の皆様と密接な関わりをもつと共に、協会と連携し、地域文化の振興に努めてまいりたいと考えています。伊賀市が豊かな感性と創造力溢れる市民の皆様の方によって、品格と味わいのあるまちとして発展するよう今後共にご支援、ご協力をお願い申し上げます。



伊賀市文化会館(旧上野市文化会館)は平成3年、市民の文化、教育、福祉等の増進を図ることを目的に、市民の大きな期待に応えてオープンしました。その後、平成9年には財団法人伊賀市文化都市協会(旧上野市文化都市協会)を設立し、以来市民のニーズにあった事業企画、また質の高い芸術文化の鑑賞の場の提供

はもとより、市民が主体的に展開できる文化活動を支援してまいりました。こうした当協会の地道な事業展開により、同会館が徐々に伊賀市の文化発信の拠点になりつつあると実感しております。

また当協会では伊賀市文化会館をはじめ、市内のホール、体育施設、生涯学習施設、文化財施設、図書館、キャンプ場の管理運営を行うだけでなく、それらの施設を利用して様々な文化事業を展開しております。今日まで当協会の事業運営にご協力いただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

今後も、当協会の目的である「創造性を育むふれあい豊かな文化交流のまちづくり」に弾力性と機動力をもって推進していく所存でございますので、市民の皆様方にはこれまで以上にご支援を賜りますようお願い申し上げます。

巨大流しそうめんと竹ご飯作りに挑戦!・・・したよ

8月27日(日)、岩倉峡公園のバーベキュードームにて、(財)伊賀市文化都市協会主催の「巨大流しそうめんと竹ご飯作り」に挑戦!が行われました。当日は天候に恵まれ、約80人が12班に分かれて参加しました。

さて内容はといいますと…



まずはじめは、各自のお碗と箸を作りました。用意された竹をのこぎりで適当な大きさに切り出し、カッターやサンドペーパーで形を整えます。小学生のグループもありましたが、みんなで協力し合い上手に出来上がっていました。

次は、炊き込みご飯を炊くのですが、なんと竹の釜で炊くのです。太めの竹の節と節の間を利用して釜とするのです。お米を洗い、かやくの具と一緒にその中に入れます。竹が焼けてしまつて中のご飯が出てこないか心配でした。何度も中をのぞきながらも、20分ほどで見事炊き上がりました。

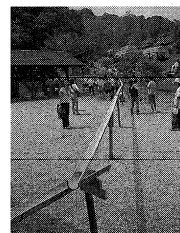
さて、いよいよメインイベントの流しそうめんです。しかしすぐには食べられません。竹の道を作らなくては。参加者全員で、5~6mの竹を順につなげていきます。当初は80mの予定でしたが、当日100mに伸ばしました。さすがに100mは長い!これはまさしく巨大流しそうめん。勾配の急なところがあるは、2ヶ所で折れ曲がっているところがあるは。本当に流れるのだ

ろるか、との心配をよそに流しそうめんが始まりました。思った以上にうまく流れていき、全員が大歓声です。実際食べ始めると下流で待機している人たちまで、なかなか流れてきません。それもそのはず、距離があるのもそうですが、上流でばくばく食べているのですから。「上流の人たち、食べ方止め。」のハプニングもあり、全員が、おいしく楽しくそうめんを食べることが出来ました。そうそう、先程の炊き込みご飯も程よく蒸らされ、とても



おいしかったのは言うまでもありません。

そして最後にサプライズとして、デザートが流れてきました。白玉だんごです。これはそうめんのように箸で簡単にはつかめません。案外下流にも早く流れてきました。四苦八苦しながらも、何とか全員が見事につかむことが出来ました。子どもたちには、これが一番好評だったようです。後片付けも全員で済ませ、炊き込みご飯のおにぎりもお土産となって、楽しいひと時が終わりました。



その後は、川で遊ぶ人や、つり橋を渡って散策、アスレチックに挑戦と、各自がそれぞれ岩倉峡公園を満喫していました。子どもたちには、まさしく良い夏休み最後の思い出となったことでしょう。

(広報事業委員 奥真也)

理事 伊賀の文化を語る

味噌一典氏(副理事長)

文化の高まりとは一体何であるうか。それは、市民の文化志向の質と量の問題と言える。伊賀市民はどのような文化志向を、どの程度もっているのか。その特色は芭蕉さんという偉大な先人に導かれる韻文学への志向であろう。これを中心にして、更に音楽・絵画・書等多様な文化がこの盆地に大輪の花を咲かせている。文化の質を高め量を拡げることが文化都市協会の大きな使命。人が輝き地域が輝く伊賀市のために、文都の益々の努力に期待したいものである。

稲住邦子氏

今、故郷を語れる人がどれくらいいるのでしょうか。城下町『伊賀』は、さまざまな文化が栄えた。芭蕉をはじめ著名人も多く、恵まれた環境で生活できる喜びを感じています。

古き良き文化を尊重し、新しい生活文化との融合を図りながら、故郷を誇りに思う“伊賀びと”の心が継承されることを願います。

今井由輝氏

伊賀市文化都市協会設立十周年、誠におめでとうございます。昔から伊賀の人は忍者の里のせいとかどうかは知りませんが、外に向けてのPRが下手だとかよく言われたことがあります。伊賀市には名所旧跡がたくさん有り、今の時代にはこれらを組み込んで市全体の観光を主にした数々のイベントを企画し、そして外に向かってPRをどんどんしていくことにより、文化の薫るまちになってくるのではないかと私は思っています。

上村桂一氏

私たちの思考の基層には、地域の文化があります。子供たちが、グローバル化の進む社会を自分らしさを持って豊かに逞しく生きて行けるよう、伊賀の文化をしっかりと伝えて行かなければならないと考えています。

奥 邦雄氏

それぞれの地域で養われてきた文化を大切にしながら、伊賀市の松尾芭蕉の文芸文化を中心に、食の文化、産業の文化、歴史の文化が若い人達に愛され引き継がれるように努めなければならないと思う。そして人と人との絆を大切に家庭愛の尊さ、豊かさの文化を育てて行くのが新しく課せられた文化ではないでしょうか。

杉森正美氏

旧上野市時代から、長年「文化の薫る街づくり」と言うポスターが張りだされてきました。

いつの頃から、河合隼雄文化庁長官が「文化力を強く」と提言し、各地でその取り組みが進んでいます。今年の伊賀市民文化祭も「地域から高めよう三重の文化力」をテーマに取り組みもっています。文化は人々の心を「耕し」豊かな土壌を育み、人々は心豊かで元気に育ちます。

「薫る」文化の隣に、「アクティブを感じる文化、パワーのある文化」が並んで市民に微笑みかける、そんな伊賀の文化創りを目指したいものです。

柘植美智代氏

私達伊賀人は芭蕉さんに代表される数多くのすばらしい伊賀の伝統文化、芸術を次の時代に伝承していかなければと思います。国際化の中で伊賀から外に出て、故郷、伊賀について問われた時、どれだけ語ることができるだろうか、私自身お恥ずかしい限りです。古人は先代から伝承したもの、あるいは自分であみだした技・芸を「口伝」という方法で、脈々と今日まで残してくれています。私達は先代から受け継いだ、また受け継ごうとしている伊賀の宝を親から子へ、子から孫へ、今IT社会ではあるが、一つでも自分のものとし、暖かい息吹を添えて、口伝していきたいものです。

中林正彦氏

地域の文化とは、芸術や伝統文化など狭い意味でなく、生活全体に係わる文化と捉えるべきです。多くの人々が、日常生活の中で文化を身近に感じる。文化の力を結集して、経済力も感性も合わせ持った地域社会を目指せる伊賀の文化に期待します。

西田麒代彦氏

文化は継続することで磨かれる。文化とは人々の日々の営みから創造され、継続することによって磨かれるものである。今年文都10周年、文化会館15周年も継続の結果迎えた有意義な年です。これから先、30周年、50周年と文化の営みが継続された記念の年を迎えたいものです。

萩原雅也氏

かつて芸術や伝統芸能など日常生活から離れたものが文化として意識されていました。しかし、現在では経済の活性化や知識社会の資源としても文化は欠かさないものとなり、その意味するものは大きく広がっています。伊賀のこれからの発展のためには、地域文化の掘り起こしや新たな創造がますます重要になってくると思います。

宮奇慶一氏

伊賀市文化会館、開館15周年おめでとうございます。ということは私も15周年もこの会館に係わっていたと言うことで、まことにピックリの限りです。係わっていたという変な言い方ですが、要は文化で楽しませて頂きました。もうほんの少しの期間楽しませて頂けたらと思います。これからも宜しくお願い！

森永信一氏

音楽・美術・スポーツなど聴いて、観て、やって楽しい文化は多くあり私達の人生のスパイスになっています。幅広い文化に接するとともに、楽しいことばかりではないと思いますが、何か一つやることに挑戦して下さい。

四谷祥嗣氏

文化とは人類が自らの手で築き上げてきた有形無形の成果の総体であり、あまりにも広範で論ずる知識を持たないが、生活の充足度が文化の高低を示すと思う。伊賀に息づく底辺の文化の発掘と伝承が地域文化の発展につながると考える。

ホールスタッフインタビュー

No.3 ふるさと会館いが・あやま文化センター

Q.伊賀市になって、どの様に思われますか？



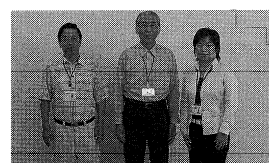
市内の4ホールの利用料金等が見直されたことにより、以前より利用率が若干減ったように感じる。しかし、今後は今まで以上のサービスに努め、何でも相談できる市民に身近なホールにしたい。

Q.これからの運営は？

地域の子供たちを育てるために、今まで実施してきた育成型、参加型事業を中心に、予算を効率よく使い頑張りしていきたい。

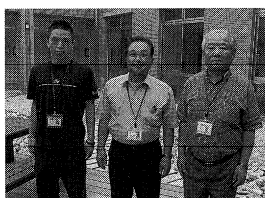
Q.4ホールの管理が一本化して良かったことは？

4月から新スタッフで再スタートした「ぶんと」ホール職員に、意気込みなどインタビューしました。



メリットとしては、どこのホールでもチケットが買えるとや、情報が得られることで、一体感が出たように思う。

※職員の習得した専門技術をワークショップ形式で提供したり、ホール利用時には舞台運営や演出効果など詳細なことまで熱心に相談に乗り利用者には喜ばれているようだ。



(広報事業委員 松永啓子 重藤憲史)

伊賀のええもん見つけた

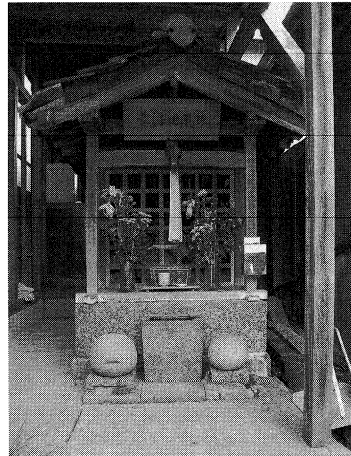
伊賀上野は地蔵盆の盛んな土地である。地蔵盆は8月24日地蔵菩薩の縁日に営まれる会式で、京都を中心に近畿の各地で行われている。これも「伊賀は関西」の証の一つであろう。

伊賀市上野の幸坂町という響きのよい名前のまちに幸福地蔵という北向地蔵がある。常に献花されていて、このまちの方々の心意気が嬉しく感じられる。

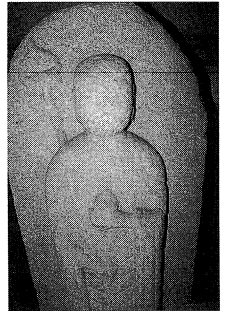
この本尊は、西の御旅所(旧幸福寺境内跡)の横に地蔵堂があり、そこに等身大の石仏地蔵が安置されていて、駒止延命地蔵と呼ばれている。

その昔、藤堂高虎公が伊予から伊賀へ入国し、領主としてこの地方を巡視した折のこと、当時「墓の谷」と呼ばれていた現徳居町界隈にさしかかった時、溝に石橋が架かっていて、それを渡ろうとすると高虎公の乗った馬が一步も動かなくなってしまった。供の者にその石橋を調べさせると裏になぜか顔の部分がつるつるのお地蔵さんが刻まれていたのである。高虎公の命でこれを掘り出し、幸福寺境内に駒止延命地蔵として安置したのである。以来、「顔のないお地蔵さん」と親しまれ、女人泰産、衆病悉除、寿命盈溢、穀物成就など、深遠なる功德が施されるとして、伊賀一円の尊崇を集めたといわれている。

こまどめえんめいじぞう 「駒止延命地蔵」



北向地蔵



本尊駒止延命地蔵

幸坂町の地名も幸福寺から由来していて、地域の人々のしあわせを願うところが込められている。

10月14日(土)から1ヶ月間、この界隈を「西のしあわせ通り」と呼び、「灯の細道」というイベントが展開される。これは、芭蕉祭の協賛行事として行われるもので、芭蕉さんの句や俳画をあしらった100個の行燈が通りを飾る。

駒止延命地蔵さんと北向地蔵さんにお参りし、幸坂町界隈を散策すればきっとしあわせになれること間違いなし!!
(広報事業委員 池澤基善)

文化あれこれ春夏秋冬

新米が出回り始める秋は、一年中で一番お米がおいしい時期ですね。日々の食卓にかかせないお米に感謝して、今回はあずき入りの栗おこわを作ってみました。新米のもち米とたわわに実った木からポトリ落ちたイガグリを、火ばさみと両足をうまく使いピカピカの栗を取り出します。

鬼皮はかたいので一晩たっぷりの水につけ、やわらかくし手を切らないようにむきます。渋皮も一緒に取り、アク取りのためもう一晩水につけておきましょう。もち米は洗って2時間ほど水につけた後ザルに

特集 伊賀の食文化 「栗とあずきのおこわ」編

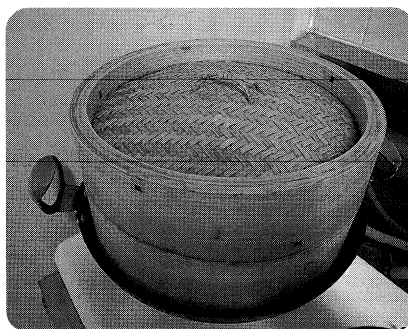
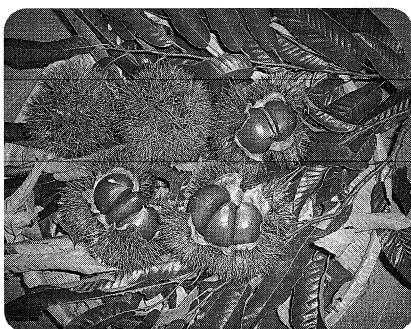
あげておきます。いよいよお米・ゆでた小豆・栗とのご対面です。

中華鍋にたっぷりの湯を沸かし、せいろをのせ、布ふきんを敷き、その中に米・小豆・栗を入れ強火でスイッチON!!

おいしく炊けますようにと手を合わせ約40分待ちましょう。

※レンジや炊飯器でもおいしく炊けますよ。

(広報事業委員 松永啓子)



こだわり人生乾杯

「伊賀にもオーケストラを」

伊賀コミュニティーオーケストラ 代表 菅生和光

吹奏楽に明け暮れていた高校時代に、フェスティバルホールで聴いた阿姆斯特ダム・コンセルトヘボウ管弦楽団のサウンドに驚いた記憶は、まだ新鮮に蘇る。私のオーケストラへのこだわりは、ここにスタートしたとおもわれる。そして大学時代のオーケストラの後輩達が、津市で三重フィルを立ち上げたとき、いつの日か伊賀にもオーケストラをと思った記憶も新しい。あれからもう35年になる。

名張青少年センターホールが伊賀で初めてのコンサートホールとして誕生した時、リステツソコンサート協会を立ち上げ、クラシック音楽の鑑賞会を続ける一方、何度かオーケストラを創ろうと声を上げてみたが、これは大変重い扉だった。また伊賀で“第九”の演奏への挑戦がスタートし、オーケストラらしきものも誕生しかかっ

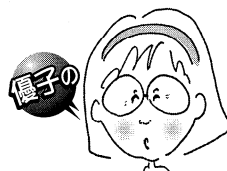
たが実らなかった。そんな中、1995年、名張中学校に三重県初の中学校オーケストラが誕生した。発足記念の演奏会の初々しい音は、本当に新鮮で感動的な響きでした。そしてここから弦楽器を経験した子供達がすこすこ巣立ってきた。

2001年、上野市制60周年を迎え、その式典音楽の依頼を受けたとき、オーケストラを編成してはどうかと提案をした。そしてオーケストラ経験を持つ仲間が中心となり、室内オーケストラを臨時編成し、見事に式典をやり遂げた。

しかしこのとき、わずか一年後に、本当に伊賀にオーケストラが誕生するとは、だれが想ったろうか。

伊賀コミュニティーオーケストラはまだ満三歳、よちよち歩きの市民オーケストラだ。でも、10月9日に、第3回定期演奏会を開催する。ぜひ聞きに来てほしい。

そしてどうですか、一緒に伊賀でオーケストラしませんか。



多情 多感

No.9

「ちょっといい話 二題」

北泉優子

早朝から嬉しいことがあった。その日は、年二回まわってくるゴミ当番で、ゴミ出しの見張番をしていた。八時前だったろうか。近くの中学の生徒たちがチラホラ登校してきた。その中のひとりの少女が、「おはようございます」と元気に声をかけてくれたのだ。一瞬びっくりしたが、「おはよう。気をつけてね。」と、こっちも応じた。「はい。行ってきます。」少女は明るく云うと、びよこんと頭を下げ、走って行った。

むろん、知らない子である。この中学は、私の出身校だが、何年か前には、少し荒れていると噂が立った。たしかに荒れていたようで、拙宅の玄関先に自転車は放置する、植込みにジュースの空缶は放り込むと、腹の立つことばかりだった。新築したての校舎の壁に落書きをして、大騒ぎになったこともあったとか。それが、数年経って、通学路に住む未知のおぼさように、朝の挨拶をしてくれる生徒がいるようになったのだ。

わたしは何となく心弾む気がして、ち

よつといいな と嬉しかった。

今年のセリーグの優勝はどうやら中日になりそうだが、わたしは、小学生以来のトラファンである。東京時代は、巨人びいき以外は人に非ずの風潮だったから、黙ってうつつむいていたが、伊賀人に戻ったとたん、胸張ってトラ党を公言し、伊賀上野愛虎会にも入会させてもらった。

愛虎会では年に数回甲子園観戦ツアーを開催する。ツアーには、わたしも年に一回参加することになっている。

昨年のことだった。その参加したナイターツアーで迷子になってしまった。恥ずかしい次第ながら、重症の方向音痴なので、一緒に行った友人の袖をしっかりにぎりしめていたのだが、何しろ五万人がどつと一度に動く帰り道である。

スタンドから出口へゆく途中で人波にはじかれ、手をはなしてしまったのだ。波に押されて球場外へは出たものの、さあ、右も左も分からない。迷子になるなど想定外。大型バスの駐車場の場所もうる憶え。世話役の人のケータイ番号も聞き流していた。さあ、どうしよう。

わたしは、頭の中が真っ白になった。この夜更けに、甲子園から上野まで一人ではとても帰れない。心細さに泣きそうになりながら、それでも真っ白な頭の中のどこかで、タクシードといくらかかなアと、財布の中味を思い浮かべていた。と、目の前を、三、四人の茶髪の若者が歩いていった。トラファンに悪い人はいない。信じ切っているわたしは、我知らず声を

かけていた。

「お兄ちゃんたち、応援バスの駐車場まで連れていってくれへん？迷子になってしもたんや。昼間と景色がまったく違うやろ。どっちへ行けばいいのや？」

「おばちゃん、駐車場ってどこのや？」

「たぶん浜公園やと思うわ。一駅ぐらい歩いたもの」

「ほな僕らの隣かもしれん。一緒に行く。ついで」

「ありがと。助かったわ」

若者たちの足は速かった。チビで鈍足のこっちは必死で後を追った。すると、彼等は歩巾をゆるめ、わたしに合わせにくれた。それも、さりげなくである。ゆっくり歩きつつ、若者たちは、奈良から来たとか、おばさんはどこからだとか、わたしの不安をやわらげてくれるように、話しかけ、駐車場の入口まで送ってくれた。そのおかげで、一番遅くなったが応援バスに無事たどり着き、同乗の皆さんに迷惑もかけずにすんだ。いま、あの時を思うと、心細さと不安よりも、彼等の心の優しさが印象に残っている。茶髪のお兄ちゃんたち、あの夜は本当にありがとう。おばさんは一生忘れないよ。そして、別れざわに言ったあのひとことも。

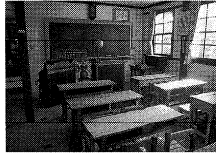
「おばちゃん、二度と迷子になったらあかんぞ」

今回は、わたしにとって、いい話を記させていただいた。若い人たちが、わたしは大好きである。

(作家・市内在住)

秋の特別企画展

『教科書に見る社会科
(地理)のあゆみ』展



昨年復元した「昔の教室」において、今年は、明治初期から昭和までの地理(地誌)教科書や地図を展示します。教科書や地図の移り変わりから当時の人々の生活の変化や教育の歴史を振り返り、現代の教育について考える機会にさせていただきたいと思えます。また、体験コーナーでは、地図やパズルなどを使って楽しく学んでいただける工夫もしています。

- 開催場所 旧小田小学校本館
(伊賀市小田町141-1 TEL 21-9957)
- 開催期間 平成18年11月1日(水)～11月30日(木)
期間中休館日なし
- 開館時間 9:00～16:30
- 参観料金 通常料金(大人100円・学生50円・小中高30円)

参加者募集

期間内特別事業…地理教科書や地図などを使っての
「おたのしみ地理教室」

- ◎11月19日(日) 13:30～14:30
- ※対象者…一般・児童(小学4年生以上)
- ※定員…予約が必要(定員20名程度・先着順)
- ※受付…10月23日(月)9:00より電話受付
- ※申込先…(財)伊賀市文化都市協会(TEL 22-0511)

上野歴史民俗資料館特別企画

「伊賀まちかど博物館」展



みなさん、「伊賀まちかど博物館」をご存知ですか?
「伊賀まちかど博物館」がこの度、上野歴史民俗資料館に出張展示されることになりました。
各館長さんの、よりすぐりのコレクションや、こだわりをご覧いただける、この機会に是非お越しください。
また、イベント「館長と～遊ぶ～」を開催予定していますので、お楽しみに。

- 開催期間 第1期展示 ～遊ぶ～
10月1日(日)～11月25日(土)休館日なし
(鉄道模型、ブリキのおもちゃ、木の玩具等 数百点展示)
- 場所 上野歴史民俗資料館(伊賀市上野丸之内116-2)
- 開館時間 午前9:00～午後4:30
- 参加館
 - ・雑貨コレクション ポルトカワバタ(PEZコレクション)
 - ・おじいさんの古いもの博物館 むらい萬香園(食玩)
 - ・手作り木工房 アトリエちいく(木のおもちゃ)
 - ・夢多遺鉄道模型館(鉄道模型)
 - ・街角ブリキのおもちゃ博物館 TINs Café(ブリキのおもちゃ)
 - ・世界のかえる博物館(カエルコレクション)
- 入館料金 大人200円 高・大学生150円 小・中学生100円
- 共催 伊賀まちかど博物館推進委員会
- 第1期 イベント「館長と～遊ぶ～」を開催予定(詳細未定)
11月11日(土)
- お問合せ (財)伊賀市文化都市協会
(TEL 0595-22-0511)

参加者募集

グラウンドゴルフ大会
第1回「集まれ!グラウンドゴルフ仲間!!!」
BUNTO杯!

日頃の練習の成果を思いっきり発揮していただくこと、グラウンドゴルフ大会を企画しました。
ご家族、お友達、地域ぐるみで参加し、いい汗を流して、みなさんで楽しみましょう!!



- 日時 平成18年11月29日(水)
※小雨決行 雨天時30日(木)順延
- 会場 上野運動公園 競技場
- 日程 午前8時から受付・午前8時45分から開会式・
午前9時から競技開始(予定)
- 料金 参加費 1人 300円
- 協力 伊賀市グラウンドゴルフ協会
小田地区グラウンドゴルフクラブ
- 受付期間 10月1日から10月31日まで
- 申込方法 申込用紙にて受付いたしますので、下記の受付窓口に参加費を添えて提出してください
(申込用紙は受付窓口でご用意しています)
- 受付窓口 伊賀市文化会館・上野運動公園スポーツセンター・ゆめドームうえの・ふるさと会館いが・大山田BG・阿山BG・青山ホール
- お問合せ (財)伊賀市文化都市協会
電話 0595-22-0511

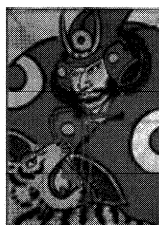
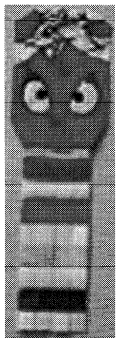
参加者募集

～あそぼう～ ～はなそう～

親子で手作りの凧をあげてみよう

オリジナルの凧を作って
青山グラウンドで大空高く上げてみよう!
みんなで一緒に大凧もあげちゃおう!!

- 日時 平成18年11月26日(日)
10:00～15:00
- 場所 青山グラウンド
(伊賀市奥鹿野1988-1)
- 講師 夢と技の伝承「カーペンター」
田鍋 鉄弥 氏
- 対象 親子30組(先着順)
- 内容 小学3年生以下 タコの凧
小学4年生以上 おしき凧
- 参加費 1組500円
(材料代及び傷害保険料含む) タコの凧
- 持ち物 お弁当、飲み物、ハサミ、絵具



- 申込方法 平成18年10月29日(日)
9時より
青山ホールにて電話で受付します。
- お問合せ 青山ホール
(伊賀市阿保1411-1)
TEL0595-52-1109 FAX0595-52-3698
e-mail aoyamahall@bunto.com

音楽座ミュージカル

『リトルプリンス』

アルバイト
募集

- 就業日 平成19年1月18日(木)
- 就業時間 7:30~0:00まで(休憩あり)
- 就業内容 搬入・搬出・設営ほか
- 募集人員 12名
- 就業場所 伊賀市文化会館
伊賀市西明寺3240-2
TEL 0595-24-7015
- 賃金 13,000円(源泉徴収税含む)
昼食、夕食付き 交通費なし
- 条件 健康で体力のある人

※年に数回アルバイトを募集するイベントがありますので、
アルバイト希望者は詳細について下記までお問合せください。

■お申込み・お問合せ先

(財)伊賀市文化都市協会 TEL 0595-22-0511

参加者募集

第68回タッチ・ザ・スタインウェイ
～霧氷のコンサート～

世界最高のピアノ、スタインウェイを
気軽に弾いてみませんか！

- 開催日時 平成18年12月2日(土)
10:00~17:00



- 場所 青山ホール
- 演奏時間 1枠30分以内
- 参加費 500円
・2台のピアノの場合は1枠1時間で1人1,000円
(ただし、8手の場合は1人500円)
・1枠に3名以上(ただし2台の場合を除く)の使用はできません。
- 募集人数 14枠 ※先着順とし、定員になり次第締切
- 申込方法 申込用紙に必要事項を記入し、郵送又はFAX
でお申込み下さい。
(e-mailの場合は、必要事項を記入してください。)

■申込み・お問合せ

〒518-0226 伊賀市阿保1411-1
青山ホール「タッチ・ザ・スタインウェイ」係
TEL 0595-52-1109 FAX 0595-52-3698
e-mail aoyamahall@bunto.com

第27回新人演奏会 in いが
出演者募集

音楽関係大学等で学んできた新人に発表の場を提供し、多くの方々に披露することにより、出演者のよき励みとし、また後に続く新人への目標となる県下唯一の新人演奏会。

- 日時 平成19年4月22日(日)
- 会場 伊賀市文化会館さまざまホール
- 出演資格 音楽関係の大学、大学院、短期大学、専門学校等を卒業(修了)予定者。または卒業(修了)した者で、三重県出身者又は在住者。
・新人演奏会inいが実行委員会が推薦した者。

- 曲目 自由
- 演奏時間 15分以内
- 参加費 無料 ただし30枚チケットを負担のこと。
(1枚 1,000円)
- 応募方法 出演申込書に必要事項を記入の上、下記へお申込み下さい。
〒518-0809 伊賀市西明寺3240-2
財団法人 伊賀市文化都市協会
「第27回新人演奏会inいが」係
- 応募期間 平成18年12月1日(金)から
平成19年1月31日(水)まで
- その他 演奏楽器(ピアノは除く)は、各自用意すること。

四方の山 昔琵琶湖の 壁とやら
比自山の 古戦伝える 蟬の声
★街角の 忍び人形 客迎え



伊賀びとに なりきりたくて 二十年

賀柳

伊賀びとの 文化力みる 展覧会
句作りに 燃えてまんねん 芭蕉祭
かた焼は ソウル・フードや 伊賀めざす

福沢 義男

井ノ上 揮男

丁髷を 付けて入交家へ 入る
崇廣堂 講義を聞くと 江戸の風
健脚を 芭蕉に頼む わらじ塚

梅田とほる

★印の方に好評発売中のエッセイ集「辛口
あま酒」をプレゼントします。次号の締切は
11月15日です。伊賀にちなんだ川柳・氏名・住
所・年齢・連絡先・必要なら掲載用の柳名をハ
ガキ・FAX・Eメールで下記までお願いしま
す。

ホール・ドーム **これから** 情報

青山ホール

伊賀市阿保1411-1 TEL.52-1109

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
10/14(土) 10:00~	第67回タッチ・ザ・スタインウェイ	関係者	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109
10/15(日) 14:30~	第11回 ピアノ発表会	無料	澤 実香 ☎64-0414
10/28(土) 14:00~ 19:00~	中国雑技団 チャイナカーニバル 「ファンロージェ」	一般 2,500円 中学生以下500円 当日500円増	(財)伊賀市文化都市協会・ 旬チャイナ企画 ☎52-1109 (青山ホール)
10/29(日) 13:00~	リトルピアニスト コンサート2006	無料	杉森・月井・和田
11/4(土) 13:30~	7th Concert in Aoyama フルート・オカリナ・ホルンによるコンサート	無料	なかもフルート・オカリナ教室 ☎21-3072
11/11(土) 11/12(日) 11/13(月) 9:00~	第41回 青山ふるさと 美術文化展覧会	無料	青山ふるさと美術文化展覧会 実行委員会 ☎52-1110 (伊賀市教育委員会青山分室)
11/18(土) 14:15~ 11/19(日) 10:00~	ピアノ発表会	無料	さわ楽器 ☎23-8080
11/23(祝) 9:00~	第2回 ふれあいフェスタ in 青山	無料	ふれあいフェスタ in 青山実行委員会 ☎52-3220 (伊賀市青山支所産業振興課)
11/26(日) 10:00~	青山文化サークル 芸能発表会	無料	青山文化サークル連絡協議会 ☎52-0392 (居内)
12/2(土) 10:00~	第68回タッチ・ザ・スタインウェイ ~霧氷のコンサート~	関係者	(財)伊賀市文化都市協会 ☎52-1109 (青山ホール)
12/9(土) 13:30~	2006 人権のつどい 伊賀市人権作品表彰・太鼓コンサート	無料	伊賀市・伊賀市教育委員会 共催・青山同和教育推進協議会 ☎52-3232 (伊賀市青山支所人権啓蒙課)

伊賀市文化会館

伊賀市西明寺3240番地の2 TEL.24-7015

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
10/14(土) 13:30~	伊賀市文化会館開館15周年記念事業 「文化よ薫れ」~みんなで文化を楽しもう~	要整理券	(財)伊賀市文化都市協会 ☎24-7015
10/21(土) 16:00~ 19:30~	映画「酒井家のしあわせ」 プレミア上映	1,500円 (全席自由)	映画「酒井家のしあわせ」 文芸実行委員会 ☎24-2560 (伊賀上野CATV)
10/27(金) 18:30~	綾戸智絵 Concert 2006	7,000円 (全席指定)	キョードーチケットセンター ☎06-6233-8888
11/5(日) 13:00~	2006伊賀市民文化祭 オープニング・民謡・民舞・相撲甚句	無料	2006伊賀市民文化祭実行 委員会事務局文化国際課 ☎22-9624
11/11(土) 11/12(日) 13:00~	2006伊賀市民文化祭 11日:歌謡舞踊・マジック 12日:大正琴	無料	
11/18(土) 13:30~	2006伊賀市民文化祭 演劇 「もくれんのうた」	一般 2,000円 中高生1,000円 (当日300円増、チラシ 返付の方は500円割引)	
11/19(日) 13:00~	2006伊賀市民文化祭 吟刺詩舞・太鼓	無料	
11/23(祝) 13:00~	2006伊賀市民文化祭 洋楽(声楽・器楽)	無料	
11/25(土) 11/26(日) 13:00~	2006伊賀市民文化祭 25日:洋舞(ジャズダンス・バレエ) 26日:邦楽(日舞・三曲・長唄)	無料	
12/2(土) 13:30~	人権を考える市民の集い	無料	伊賀市人権政策課 ☎22-9631
12/3(日) 9:50~	児童アニメ映画会	800円 (全席自由)	日本ムービー企画 ☎06-6391-8461
12/9(土) 15:00~ 12/10(日) 14:00~	第12回 みえ県民文化祭参加事業 オペラ ベっかんこ鬼	大人 3,000円 高校生以下2,000円 (全席自由)	三重オペラ協会 ☎059-225-8881 (小柴)

ゆめドームうえの

伊賀市ゆめが丘一丁目1番地の3 TEL.22-0590

日時	催し物	場所	主催・問い合わせ
10/14(土) 9:00~	エクセテカカップ卓球大会	第1	伊賀市卓球協会 ☎23-2767
10/15(日) 9:00~	第4回オータムシップ小学生 ドッジボール大会	第1	三重県ドッジボール協会 ☎059-378-3920
10/22(日) 9:00~	みえスポーツフェスティバル2006 3B体操	第1	樹日本3B体操協会三重県支部 ☎47-0579
10/28(土) 9:00~	三重県小学生バレーボール 秋季大会 男子予選	第1、第2	三重県小学生バレーボール連盟 ☎64-2204
10/29(日) 9:00~	伊賀総合ソフトバレーボール大会	第1	伊賀ソフトバレーボール連盟 ☎090-2347-1091
11/4(土) 9:00~	伊賀総合バレーボール選手権 中学生の部	第1、第2	伊賀バレーボール協会 ☎63-0707
11/5(日) 8:00~	第2回伊賀市民スポーツフェスティバル バレーボール競技・綱引き競技	第1、第2	伊賀市教育委員会スポーツ振興室 ☎22-9680
11/11(土) 9:30~	子どもフェスティバル2006 身近な素材であそぼうよ	第1	社会福祉法人伊賀市社会事業協会 ☎21-5545
11/12(日) 9:00~	三重フレンズカップ ドッジボール大会	第1、第2	三重フレンズカップ実行委員会 ☎059-374-1858
11/25(土) 9:00~	スポーツ交流会 ソフトバレーボール	第1	三重県労働者福祉協議会 ☎059-225-2855
11/26(日) 9:00~	三重県小学生バレーボール チャレンジ大会	第1、第2	三重県小学生バレーボール連盟 ☎21-5748
12/2(土) 12/3(日) 9:00~	第26回全国スポーツ祭典 ミックスバレーボール大会	第1	新日本スポーツ連盟 愛知県連盟 ☎052-201-4801
12/2(土) 11:00~ 12/3(日) 10:00~	イガテハク=伊賀でデザイン博	第2	えこころ倶楽部 ☎52-3845

●編集部だより●

文化とは?編集会議で何度も掘り返しているが、一言で言い表すには、あまりに広く深い。隣に在るものでもあり、仰ぎ見なければならぬものでもあって。だから、よけい育て守らねば、とも思う。コップの花一輪、一輪の飯にも、「心の彩り」文化は宿る。人は誰しも、美しいもの、すばらしいものを見たいし聞きたいし触りたい。

「ぶんと通信」では、伊賀の多様な文化を、少しでも多く紙面に紹介させて頂くためにも、皆様のご意見をお待ちしています。

(広報事業委員 廣澤良美)

ふるさと会館いが

伊賀市下栢植6243番地 TEL.45-9125

日時	催し物	場所	入場料	主催・問い合わせ
10/15(日) 13:30~	美空ひばり フィルムコンサート	大ホール	一般2,000円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125
10/28(土) 10/29(日) 9:00~	いがまち展覧会	小ホール	無料	西栢植公民館 ☎45-9122
10/29(日) 9:30~	上野ビクター歌謡教室 10周年記念発表会	大ホール	無料	上野ビクター歌謡教室 ☎21-5633 (敷中)
11/3(祝) 13:00~	三重県高等学校 ギターマンドリンフェスティバル	大ホール	無料	三重県高等学校文化連盟器楽部門 ☎21-2550 (上野高校 器団)
11/11(土) 9:30~	いがまち解放保育を考える 保護者の集い	大ホール	無料	いがまち保育所保護者連絡協議会 ☎45-7111 (希望ヶ丘保育園)
11/19(日) 9:30~	文化協会発表会	大ホール	無料	やまなみ文化協会 ☎45-9122 (西栢植公民館)
12/2(土) 9:50~	児童アニメ映画会	大ホール	800円	日本ムービー企画 ☎06-6391-8461
12/3(日) 14:30~	Live Road in Winter	大ホール	500円	(財)伊賀市文化都市協会 ☎45-9125

あやま文化センター

伊賀市川合3370-29 TEL.43-1125

日時	催し物	入場料	主催・問い合わせ
10/15(日) 13:00~	人権研修会	無料	たまたき地域まちづくり協議会教育文化部 ☎42-1520
10/22(日) 9:30~	カラオケ発表会	無料	予野カラオケ愛好会 ☎21-9334
10/29(日) 14:00~	HIROSHI PIANO CONCERT	一般 3,000円 高校生以下2,000円 (当日500円増)	伊賀市文化都市協会 ☎45-9125 (ふるさと会館いが)
11/3(祝) 14:00~	伊賀市市歌発表会 ~みんなで歌おう伊賀市のうた~	無料	伊賀市企画振興課企画調整課企画政策 ☎22-9620
12/2(土) 13:20~	阿山地区人権フェスティバル	無料	伊賀市阿山支所人権推進室 ☎43-0334
12/10(日) 13:30~	みんなの発表会 (ピアノ発表会)	無料	☎43-0859 (池田)

ぶんと通信

お問い合わせ

(財)伊賀市文化都市協会

☎518-0809 三重県伊賀市西明寺3240番地の2

TEL.0595-22-0511
FAX.0595-22-0512
Eメール samazama@bunto.com

・伊賀市文化都市協会 <http://www.bunto.com>

・青山ホール <http://ict.ne.jp/~bunto/>

・ふるさと会館いが <http://www.ict.ne.jp/~furukan/>